



第361号

2019年(平成31年)2月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空満町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 竹浦 久司
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

第3回 大臨技医学検査学会実行委員会からのお知らせ

第3回 大臨技医学検査学会

Theme めざせ次世代型検査技師 ～臨床検査の可能性～

会期 平成31年2月10日(日) 時間 9:00～16:00
(受付8:00～)

参加費 会員3,000円 非会員10,000円

会場 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)11階、12階
※受付は12階です

連絡先 第3回大臨技医学検査学会事務局
E-mail: 3rdcomt@oamt.jp

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

いよいよ
開催!

第3回大臨技医学検査学会!!

今年で3年目となった大臨技医学検査学会が
いよいよ開催されます。
今年度は、どんな世代、どんな分野の方でも
満足していただけるように企画しました。
実行委員一同、皆様のお越しをお待ちしております。
ぜひお越しください!!



午前の部

「特別講演 :theme 臨床検査の可能性」
「教育講演 :theme 法改正に伴うこれからの
精度保証と精度管理」
「一般演題 (生理検査)」
「実体験 :細胞診・一般・血液・微生物」

※ 実体験 (血液、輸血、生理)、ランチョンセミナーの
整理券は受付横で配布予定です。(先着順)
※ 参加には必ず技師会会員証をお持ちください。
※ 府民公開講座は、参加費無料ですので、ご家族・ご友人を
お誘い合わせのうえ、多数の参加をお待ちしております。

ランチョン
セミナー

「他の部門で働く人に知って欲しい検査の知識」
共催: アボットジャパン株式会社
GE ヘルスケア株式会社
キャノンメディカルシステムズ株式会社

詳細な情報は1月号の大臨技ニュース、
大臨技ホームページをご確認ください。

午後の部

「教育講演: 検査部の収益を考える」
「シンポジウム: 症例から病態を診る」
「一般演題 (血液検査、免疫・生化学検査、
遺伝子・微生物検査、管理運営)」
「実体験: 輸血検査・生理検査」
「府民公開講座: Integrated Resort(IR)
統合型リゾートについて」



お知らせ

参加費について

各事業における会員の定義を以下に示します。

1. 日臨技事業 (近畿支部研修会も含む): 日臨技会員であること。
2. 大臨技事業: 大臨技会員 (賛助会員含む) であること。 ※他都道府県会員は非会員扱い
3. 日臨技申請事業: 日臨技会員または大臨技会員であること。

また、大臨技事業において以下の特例を認めます。

- 1) 大臨技登録学生 (OEMS): 事前申込み制講習会以外は参加費を免除する。
- 2) OEMSで大臨技に新入会した1年目の会員: 1000円以下の事業は参加費を免除する。
- 3) 大臨技入会申請中は会員扱いとする。

※会費振込み時の受領証が領収書の提示が必要 (日臨技にも入会している方はWEBからの発行が可能)

上記に該当しない場合もしくは会員証忘れは非会員扱いとなりますのでご了承ください。

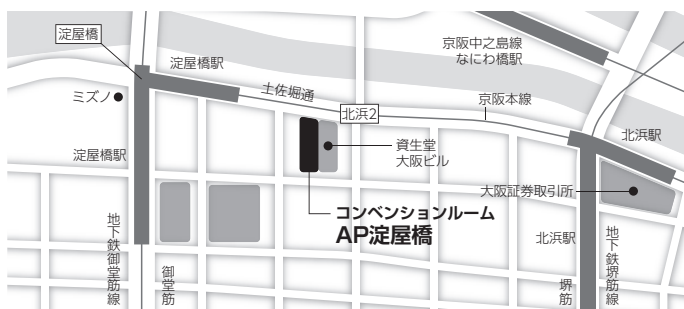
平成30年度 第35回技師長会・施設連絡者会 臨床検査データ標準化推進事業報告会 合同開催

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨床生涯教育点数

今年度も昨年度に引き続き3事業の合同開催となります。技師長会では、昨年度施行された医療法の改正をうけて、我々に求められることを考えます。

施設連絡者会では、“災害対策について”と題して、技師会としての今後の対応について説明します。精度管理部からは、例年通り臨床化学・血液検査項目のサーベイ結果の報告を行います。

- 日時** 平成31年2月16日(土) 14:00～16:40
(受付13:30～)
- 会場** コンベンションルームAP淀屋橋4F北B
〒541-0041 大阪市中央区北浜3-2-25 京阪淀屋橋ビル4F
- 参加費** 会員500円 非会員1,000円
- 連絡先** 第35回技師長会・施設連絡者会
育和会記念病院 田畑 泰弘
TEL: 06-6758-8000
臨床検査データ標準化推進事業報告会
天理医療大学 山西 八郎
TEL: 0743-63-7811



開会のあいさつ 大臨技 副会長 高田 厚照

14:00～15:00

1. 第35回技師長会

司会：関西医療大学 上田 一仁

医療法改正をうけて～精度の確保～

天理医療大学 医療学部 臨床検査学科 特任講師

山本 慶和

15:00～15:30

2. 施設連絡者会

司会：大阪医科大学 井口 健

災害対策について

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 会長 竹浦 久司

15:40～16:40

3. 臨床検査データ標準化推進事業報告会

司会：天理医療大学 山西 八郎

1) 総論 大阪みなと中央病院 竹村 真俊

2) 臨床化学① 大阪赤十字病院 山本 裕之

3) 臨床化学② 大阪市立大学医学部附属病院

上野 信弥

4) 血算 近畿大学医学部附属病院 山出 健二

閉会のあいさつ 大臨技 副会長 井戸田 篤

検体管理システム部門 ISO15189講演会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨床生涯教育点数



基礎から学ぶ ISO15189 による臨床検査室認定

国際規格ISO 15189「臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項」は、臨床検査に特化した国際規格であり、第三者(認定機関)が評価・認定する制度です。

今回の講演会では、ISO15189 認定施設、今から認定を検討中の施設、更新審査を受ける施設、ISO取得はまだ考えていないが医療法改正で困っている施設、など様々な施設の方に参加していただき貴重な意見がうかがえればと思っています。お忙しいとは思いますが、多くの施設の方の参加をお待ちしています。

日時 平成31年2月9日(土) 14:00～17:00

会場 あべのメディックス 8F 会議室1

参加費 会員1,000円 非会員3,000円

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部
山下 亘
E-mail: m0468519@msic.med.osaka-cu.ac.jp

1 「ISO15189の基礎知識」

講師：シスメックス株式会社 大阪支店学術サポート課
小林 正樹

2 「ISO15189 認定を取得して」

講師：大阪市立総合医療センター 内山 勲

3 「ISO15189認定取得と取得後の維持活動」

～内部監査・マネジメントレビューの重要性～

講師：京都第一赤十字病院 三浦 典子

京都第一赤十字病院 關橋 進吾

血液形態セミナー・シニア

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 症例検討会

1 症例提示

講師: りんくう総合医療センター 井上 早紀

2 症例解説

講師: 医真会八尾総合病院 SRL検査室 大川 洋毅

日時 平成31年2月7日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 会員(オブザーバー)600円

非会員(他府県会員の方も含む)/1,000円(1回につき)

※会費はお釣りがいらぬようご準備ください。

連絡先 市立吹田市民病院 中央検査部 吉川 慎一

E-mail: suitakensahematology@gmail.com

※必ず前日に予定の変更がないか大臨技HPをご確認下さい。

組織部 チーム医療部門からのお知らせ

多職種 公開講座

ICT 部会講習会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

平成30年度、第2回目のICT 部会講習会を開催いたします。微生物検査を自施設でされていない施設も多いと思われるが、近年、CREなどの耐性菌検出も増えてきており、微生物検査結果の解釈が複雑となってきています。また、抗酸菌の遺伝子検査方法も多くなってきており、その特性や違いなどを把握することが望ましいです。

自施設での微生物検査を実施していなくても、検査結果を正しく解釈することは、感染対策および抗菌薬適正使用の観点からも重要となってきます。今回は、微生物検査データの基本的な見方と注意点について、大阪府結核予防会 大阪病院の伏脇猛司先生にご講演いただきます。

感染管理に関わる方も、すでに感染管理をされている方も、ぜひご参加ください。

Theme 委託検査からの微生物検査データの見方について ～抗酸菌・一般細菌検査データ解釈の注意点～

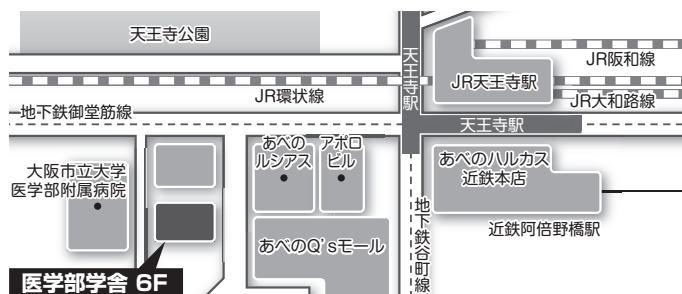
講師 大阪府結核予防会 大阪病院 伏脇 猛司

日時 平成31年2月12日(火) 18:30~20:00

会場 大阪市立大学医学部学舎6階 中講義室2

参加費 500円(一律)

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 中家 清隆
E-mail: m1357265@med.osaka-cu.ac.jp



多職種 公開講座

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

今や血糖は検査室の装置で測定するだけでなく、POCT、SMBG、または血液ガス装置など検査室以外でも測定できる機会が増えてます。

そんなどこでも測定できる血糖の測定や結果について注意点や考え方などをまとめて頂きました。今年度最後の定例勉強会です、皆さんふるってご参加ください。

1. 「血糖測定器に関連するお話」

講師: ニプロ株式会社 米花 昇

2. 「よく見る血糖値

～血液採取から結果までをCDEJ臨床検査技師の視点で掘り下げる～

講師: 住友病院 臨床検査技術科 佐藤 直美

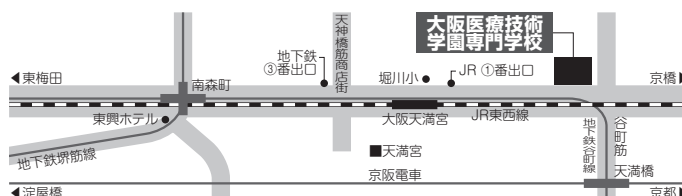
日時 平成31年2月19日(火) 19:00~20:30

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 500円(一律)

連絡先 松下記念病院 江後 京子

E-mail: ego.kyoko@jp.panasonic.com



免疫化学検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 「自動分析装置に供給する純水の基礎と検査への影響」

講師 メルク株式会社 ライフサイエンス ラボウォーター事業部
プロダクト&テクノロジー 金沢 旬宣

今回は私たちの分析に欠かせない“水”をテーマに広く学んでいきたいと考えております。純水を作る技術のお話や、ボトル精製水と純水装置の水の違い、水の純度やメンテナンスはデータに影響があるのかなど幅広いお話しをして頂く予定です。ぜひこの機会に様々な部品・パーツの特性や寿命などを知り、日頃のメンテナンスに活用して頂けたらと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成31年2月14日(木) 18:30~20:00

参加費 会員500円 非会員1,000円

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

連絡先 大臨技学術部 免疫化学検査部門 高崎 匡
E-mail: immunoandchem-osaka@yahoo.co.jp

※受付時に必ず大臨技会員証をご提示ください。

予告

次年度4-6月の定期講習会の開催日、会場について

2019年度の免疫化学検査部門定期講演会では、初級編講座の3回シリーズを計画しています。4-6月は、下記の通り開催週、曜日と会場および開催時刻が従来と異なります。必ず該当月の大臨技ニュースをご確認ください。

日時 ※ いずれも18:45~20:15 (受付18:15~)

・ 4月18日(木) 第3週木曜日!

「初級編講座①:検査前要因と検査後要因+データの読み方ミニレクチャー(肝臓編)」

・ 5月9日(木) 第2週木曜日!

「初級編講座②:検査時の変動要因(前編)+データの読み方ミニレクチャー(腎臓編)」

・ 6月5日(水) 第1週水曜日!

「初級編講座③:検査時の変動要因(後編)+データの読み方ミニレクチャー(心臓編)」

会場 3回とも大阪市立住まい情報センター 3階ホール(地下鉄 天神橋筋六丁目 駅すぐ)

※いつもと違う会場です!

日臨技申請事業 微生物検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 症例発表会 各種症例の発表(学会形式に準ずる)

講師 大阪府臨床検査技師会学術部微生物検査部門 部門委員他

2018年度最後の定期講習会は、例年実施しておりますミニ学会を開催いたします。

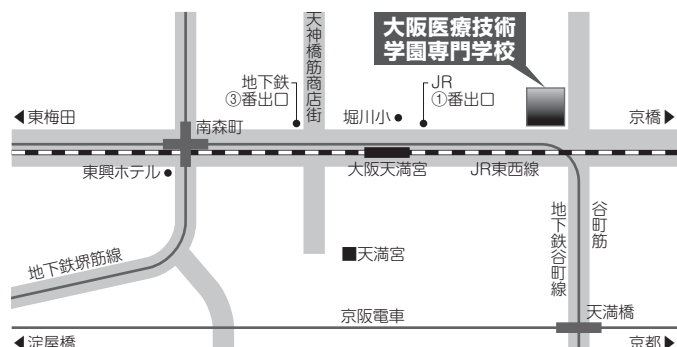
今年も新たな演題を発表する予定です。一度はどこかの学会で見聞きしたことのある演題が中心になりますが、学会とは違い講習会での発表ですので、参加者の皆様も気軽に質疑ができる場となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成31年2月28日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 会員500円 非会員1,000円
*日臨技申請事業のため、日臨技会員も会員扱いです。

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 仁木 誠
E-mail: niki@med.osaka-cu.ac.jp



日臨技申請事業 第33回 大阪病理技術研究会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

今回の研究会は右記のごとく10演題により構成されています。若手からベテランまで、幅広い知識の習得に役立つ内容となっています。

また、病理関連メーカーに展示参加のご協力を頂いており、情報交換の場としてご活用いただけます。

※本研究会は認定病理検査技師の単位が取得できる講習会として申請中です。

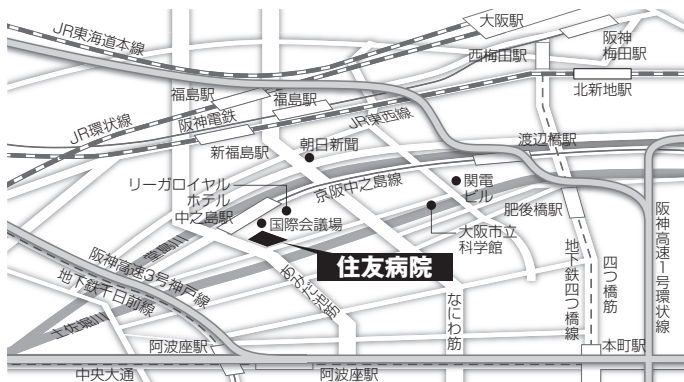
日時 平成31年2月17日(日) 13:30~17:45
(受付 13:00 ~)

会場 住友病院 14階講堂

参加費 会員500円(会員証をお持ちください)
非会員1,000円

※席と抄録集(100部)に限りがありますことをご了承ください。

連絡先 大阪府済生会野江病院 病理診断科 小椋 聖子
E-mail: seiko.ogura@noe.saiseikai.or.jp
T E L : 06-6932-0793(直通)



演題

- 1 当院の病理組織検査におけるヒューマンエラー防止対策について
講師: りんくう総合医療センター 小島 義忠
- 2 病理検査業務とヒューマンエラー
~医療安全の観点から~
講師: 大阪回生病院 菅原 真由美
- 3 LBC を用いた術中組織洗浄細胞診
講師: 和歌山県立医科大学 木下 勇一
- 4 切片の吸着の機序と剥離の抑制
講師: 奈良県立医科大学附属病院 渡邊 拓也
- 5 固定後の組織が乾燥した場合のトラブルシューティング
~対策と検討~
講師: 兵庫医科大学病院 鳥居 洋祐
- 6 TSC-PAM 染色に関する検討
講師: 神戸大学医学部附属病院 尾崎 達司
- 7 新しい髄鞘染色の検討(第一報)
講師: 兵庫医科大学病院 中村 純子
- 8 凍結標本作製法の工夫・検討
講師: 名古屋大学全学技術センター
名古屋大学大学院医学研究科 牛田 かおり
- 9 Pile-up 組織アレイの有用性について
~コンベンショナルタイプ組織アレイとの比較~
講師: 神戸大学医学部附属病院 二反田 隆夫
- 10 一級臨床検査士(病理学)資格認定試験について
講師: 洛和会音羽病院 森藤 哲史

日臨技申請事業 輸血検査部門 輸血セミナー2019

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

昨年12月から施行になった改正医療法をはじめとして、臨床検査に関わる環境がこの数年で大きく変化してきました。今回の輸血セミナーの4つの講演が、自施設の輸血療法が安全に行われているか業務の再確認のきっかけになれば幸いです。ぜひご参加ください。

日時 平成31年3月3日(日) 10:00~16:00
(受付9:30~)

会場 大阪医科大学北キャンパス
看護学部看護学科講堂

参加費 会員3,000円 非会員5,000円
*日臨技申請事業のため、日臨技会員も
会員扱いです

連絡先 大阪府済生会中津病院 検査技術部
深田 恵利奈
E-mail: yuketsu_osaka@yahoo.co.jp

- | | |
|-------------|---|
| 10:00~10:50 | 「I&A」
講 師: 大阪医科大学附属病院 河野 武弘 |
| 10:50~11:40 | 「医療法改正」
講 師: 関西医療大学 上田 一仁 |
| 11:40~12:50 | 昼食休憩(昼食は各自でご用意ください) |
| 12:50~13:40 | 「ISO15189の概要」
講 師: シスメックス株式会社 中島 豊勝 |
| 13:50~15:55 | 「“深淵なる”輸血事故対策の考え方と現実」
講 師: 近畿大学医学部附属病院 辰巳 陽一 |

大臨技一般検査セミナーⅡ

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 「バーチャルスライドで髄液検査を学ぼう＆認定一般検査取得への道」

今年度最後の一般検査講習会では、バーチャルスライドによる髄液細胞数検査実習と「認定一般検査技師取得への道」の講演をします。

髄液細胞数検査は、緊急検査としても重要ですが、標本が長期保存できないことや検体を見る機会が限られることから、鏡検技術の習得に悩んでおられる方は多いと思います。そこで、半永久的に保存が可能なバーチャルスライドを用いた疑似的鏡検実習を計画しました。講義でスライドを見るだけでなく、実際に視野を動かしながらわからない細胞について相談することで多くのことが得られると思います。

また、これから認定一般検査技師取得を目指す方のために、取得に必要な条件やレベルと最近認定を取得した若手が体験談をお話しします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 平成31年3月2日(土) 14:00～16:00

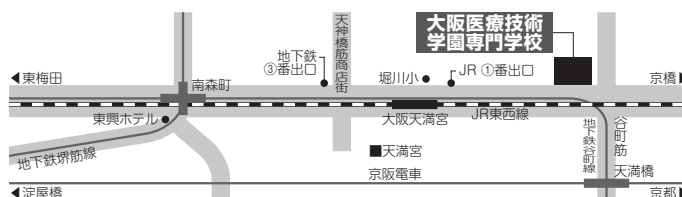
14:00～14:45 「認定一般検査技師取得への道」
講師：大臨技一般検査部門 部門委員

会場 大阪医療技術学園専門学校 コンピュータ室

14:45～16:00 「バーチャルスライド鏡検実習」
講師：大臨技一般検査部門 部門委員

参加費 会員(賛助・申請中を含む)500円
非会員1,000円

連絡先 株式会社エスアールエル 関西検査部 大阪エリア検査課
堺咲花病院 吉永 治代
E-mail: osaka_ippan@yahoo.co.jp



募集
要項

定 員 80名

申込み受付期間 平成31年2月4日(月)～平成31年2月28日(木) *定員になり次第終了します。

申込み方法 下記URLの申込みフォームにて必要事項をご入力ください。

申込URL <https://goo.gl/forms/JNGUjlvwYrXE81YE3>

記載内容 ①氏名 ②施設名 ③施設住所 ④電話番号⑤メールアドレス

⑥会員番号・会員区分(会員証のある方のみ、日臨技・大臨技などの所属を記載)

※ 申込受付期間外の登録は無効とします。

※ お申込み後、自動送信にて確認メールをお送りします。確認メールが受領できない場合、メールアドレスの入力に間違いがあるため、再度入力してください。

※ 携帯メールは基本的に不可とします。ただしE-メールを受信可能な場合のみ可能とします。

※ 施設内での複数名受講は可能ですが、参加者が多数の場合は、調整をお願いする場合がありますのでご了承ください。



Report

第34回 せつつ市民健康まつり

大阪府済生会吹田病院 磯田 智史

平成30年11月11日(日)10時より、摂津市立保健センターにて「第34回せつつ市民健康まつり」が開催されました。数年前までは、「今年も雨では？」なんて会話がありましたが、ここ最近では天候に恵まれ今年も晴天の中での開催となりました。

臨床検査コーナーでは簡易貧血検査と称して、「針を刺さずに指先40秒で測定可能」を謳い文句にヘモグロビン測定を行い、最終的には325名の方に検査を受けていただき大盛況となりました。結果が出た際、体験者の方に「あくまでも体験検査ですので、目安と思ってください」との説明に「大丈夫、理解しているよ」との返答が多々あったことで、「毎年、参加されておられるんだな」と分かり、健康に対する意識の高さを実感させられました。今後も継続して、市民の方々の健康に携わっていききたいと思います。

参加していただいたボランティア技師、摂津市職員に方々、検査機器を提供していただいたSysmex様には大変感謝しております。ありがとうございました。



平成30年度 府民健康フォーラム

心疾患を考える～あなたのハートは大丈夫？～をテーマに平成30年11月23日に開催されました。フォーラムは 高田副会長の司会進行により、基調講演では大阪府内科医会 泉岡利於副会長に「心臓の病気って怖い？」をテーマにご講演いただきました。また、薬剤師会・栄養士会・臨床検査技師会の各団体より3題の講演があり、当会からは「心疾患と臨床検査の関わり」テーマに安保理事に講演いただきました。

参加府民に対して心疾患についての概要、食事についての注意事項、どのような検査が用いられるか、薬物療法の種類等について知っていただく機会となりました。各団体会員だけでなく府民からの質疑もあり、盛況に終わりました。



平成30年11月23日、西梅田のブリーゼプラザ小ホールで行われた「第14回府民健康フォーラム」に参加いたしました。当日は祝日にも関わらず、330名収容の会場は満員となっており、府民の方々の健康に対する関心の高さがうかがえました。フォーラムはそのメインテーマを「心疾患を考える」と題して、大臨技高田副会長の司

会にて進められ、医師、栄養士、臨床検査技師、薬剤師といった様々な職種の方からの心臓に対する講演が行われました。私自身も心臓を患った身内がいましたので、疾患の基礎や食事、検査から治療といった講演の内容は非常に興味を持って聞くことができました。特に基調講演で話されたリズムコントロール・レートコントロールの重要性やCHADS2スコアの運用についての内容は、患者さんへの検査の説明や相談をする臨床検査技師として

身につけておくべき知識だと思いました。日頃聞くところの無い他職種の方々の講演内容は病院内の医療チームとしての活動にも役立ちます。また機会があれば府民健康フォーラムに参加したいと思います。

健保連 大阪中央病院 坂東 雅彦



地域ニューリーダー育成研修会に参加して

今回、平成30年12月16日に開催された大臨技ニューリーダー育成研修会に参加させていただきました。参加をするきっかけは上司の方からの勧めでしたが、自分のような若年者が参加していいのかと思ったり、6時間における長丁場で居眠りしないかなど不安ばかりでした。いざ始めてみると、どの講義でも寝たらもったいないと思えるような内容の講義でした。

日本臨床検査技師会副会長横地先生の講義で「病院内で検査技師が求められているのではなく現状では検査結果が求められているだけ」、「検査技師の認知度は掃除のおばちゃん以下」だと聞いた時は衝撃を受けました。

「現状維持では駄目で自分達から一歩を踏み出さなければ何も変わらない」という言葉は今の自分に足りていないものだと思います。横地先生が実際に検査室でリーダーとして行ったことも話していただき、そんなリーダーに自分もなりたいと思うばかりでした。

大阪府臨床検査技師会常務理事増田先生の講義ではリーダーの役割、リーダーシップをとるにはどんな能力が必要なのかを、具体的に話していただきました。リーダーになるためのイメージを強く持たせていただけたような内容でした。その他にも昭和世代がゆとり世代にどう思っているかという話もあり、自分がゆとり世代であ

るだけに胸に刺さるものが多かったです。

日本適合性認定協会（JAB） 町田先生からは当院検査室がついに先日、取得したISO15189に関する講義でした。なかなか解釈するのが難しいような内容の要求事項を噛み砕いた内容にしての解説や、マネジメントレビューに関する内容など、今後の検査室で直接関わってくる話ばかりで大変参考になりました。

済生会中津病院 吉永先生からは「私たちが求めるリーダー像」という内容の講義で、済生会中津病院は2017年に既にISO認定を受けた施設で、吉永先生は自分と同世代の技師であることもあり共感できる内容や参考にさせていただく内容がとても多かったです。

最後に三島救命救急センター濱田先生からは、先日発生した大阪北部地震での災害拠点病院としての経験を細かく話していただき、その上で南海トラフ地震に対する準備や技師のすべきことなど、今後必ず起こると言われている今だからこそ、聞けて良かった思える内容でした。

貴重なお話を一日で聞けるような講習会に参加させていただき誠にありがとうございました。

大阪赤十字病院 臨床検査科部 生理検査課 乾 優暉



日臨技 横地副会長



大臨技 増田常務理事



町田氏



濱田氏



吉永氏

大臨技事務局からのお知らせ

当会は日臨技と大臨技の両会への入会を推奨します！
会員の皆様に対し、大臨技は身近な教育により、日臨技は学会や認定技師制度などを通じ、それぞれの立場から人材育成や職域拡大の役割を担います。

- **！重要！なお知らせ** 「大臨技会員資格」について
※大臨技会員になるには、下記の条件を必要としますので、必ずご確認ください。

第3章 会員

(会員の資格)

第3条 この会の正会員は、原則として大阪府内の施設に勤務するか、もしくは大阪府を現住所とする。

- 2 この会以外の都道府県臨床（衛生）検査技師会に所属する者が、この会へ重複して入会を希望した場合、この会の正会員となることができる。

(「公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 組織運営規程」より抜粋)

■ 2019年度「年会費」納入について

日臨技・大臨技の両方に入会されている方と、大臨技のみに入会されている方では会費の金額や納入方法が違いますので、ご注意ください。

※【重要】 詳細は、大臨技ホームページをご確認ください。

日臨技・大臨技の両方に入会されている方は、日臨技へお問合せください。

1. 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費10,000円と大臨技年会費5,000円を合算した15,000円が、日臨技にて登録の振替口座より2019年2月27日に自動引落しされますので、口座残高の確認をお願いします。

2. 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備付の「払込取扱票」（白地に青枠の用紙）に必要事項を記入し、大臨技年会費5,000円をお振込ください。

ニュース12月号に同送しています「会費納入案内」もしくは大臨技ホームページを参照ください。

※2019年3月31日（必着）までに会費を納入されましたら、2019年度大臨技会員証を4月末頃に発送いたします。4月以降に納入された場合は7月末頃に発送いたします。

3. 2019年度より、大臨技のみ会員から日臨技にも入会される方

詳細は日臨技へお問い合わせのうえ、ご対応ください。

4. 自宅および勤務先施設の住所が大阪府外の方（重複会員）

他府県技師会と大臨技の両方に入会する事が必要です。詳細は、当会事務局までお問い合わせください。

■ 2018年度大臨技会員証について

*第1回目の発送（3月末迄に年会費を納入された方）は、4月25日に発送いたしました。

*第2回目の発送（4月～6月末迄に年会費を納入された方）は、7月26日に発送いたしました。

*第3回目の発送（7月～9月末迄に年会費を納入された方）は、10月26日に発送いたしました。

*10月以降に年会費を納入された方には、「会員登録証明はがき」を会員証の代わりとして発行いたします。

※会員証が届くまでの間に勉強会等に参加される場合は、会費をお振込みされた時の受領証を会員証代わりにご使用ください。

日臨技にも入会されている方は、日臨技ホームページの「会員専用ページ」から領収証を発行できますので、その領収証をご使用ください。

■ 会員証の再発行について

紛失等により再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「大臨技会員証再発行申請書」をダウンロードし必要事項を記入のうえ、当会事務局に提出し、再発行費500円を納入してください。申請書と再発行費の入金確認後、発行します。再発行日程は、会員証発行日程に準じます。10月以降に申請された場合は、「会員登録証明ハガキ」を会員証の代わりといたします。

■ 臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許の取得後、速やかに大臨技ホームページより「臨床検査技師免許証番号 届出書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、当会事務局まで提出してください。届出後、正会員として正式登録いたします。

※【重要】 届出が無い場合は、2019年3月31日付けで除籍扱いとなります。

■ 施設・技師会・住所等の変更について

勤務先施設や所属技師会の変更、転居による住所等の変更が生じた場合、大臨技ホームページより「会員異動届」「施設登録用紙」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、速やかに当会事務局まで提出してください。送付先が不明な場合、大臨技ニュース等の送付物を送付できなくなります。

■ 退会申請について

※大臨技のみ会員の方は、大臨技ホームページより「退会届」をダウンロードし、必要事項を記入の上、3月31日（必着）までに大臨技事務局に提出してください。

※日臨技・大臨技ともに入会されている方は、日臨技ホームページの「会員専用ページ」から退会手続きを3月31日までに行ってください。会員専用ページから退会手続きができない方は、日臨技・大臨技それぞれの「退会届」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、日臨技と大臨技の両方に3月31日（必着）までに提出してください。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

大臨技理事会報告 Executive board report

平成30年度 第9回(平成30年12月13日)開催分

1. 主に大臨技ニュースの印刷所を見直すために新規印刷会社での12月号試作検討を行った。紙面デザインのクオリティを重視した結果、現行のフジイ・カラーを継続することを決めた。
2. 平成31年度役員候補者選出委員を決定した。
3. 第68回日本検査医学学会にて渉外部がこれまでの献血ボランティア活動をテーマにした「大臨技の献血推進活動第50回を迎えて」を演題発表することを承認した。

研究紹介：自己免疫性脂質異常症

私の所属する心血管代謝学研究室では、動脈硬化に関連する病態の診断法を開発することを目指して研究を行っています。そして、リポ蛋白リパーゼ（LPL）やその活性化因子であるアポリポ蛋白（アポ）C2に対する自己抗体による重症高中性脂肪血症を報告してきました。これらの成果により、我が国の原発性高カイルミクロン血症の指定難病の診断基準の一つに、抗LPL自己抗体や抗アポC2自己抗体の存在が加えられました。

自己免疫性脂質異常症は、脂質代謝に重要な分子に対する自己抗体により、その分子が機能障害を起こすことで発症します。確定診断には、①代謝に重要な分子に対する自己抗体の存在、②自己抗体がその分子の機能障害を起こすことの証明が必要です。しかし、診断が難しいため見逃されている症例も数多く存在すると考えられます。

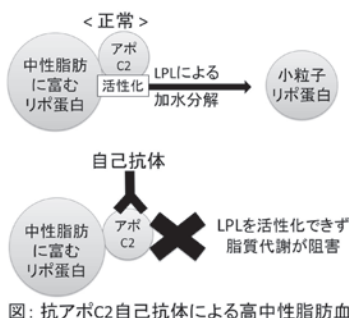
今年、我々は秋田大学小児科から紹介を受けた全身性エリテマトーデス（SLE）に合併した高中性脂肪血症症例において、抗アポC2自己抗

体を検出し、その自己抗体がLPL活性を阻害することを証明しました。

症例は11歳女児で、重症な高中性脂肪血症を発症しており、血清アポC2濃度がアポC3濃度と比べて著しく低下していました。そのため、アポC2に対する自己抗体の存在を疑いました。①抗アポC2抗体による免疫沈降と、抗ヒト免疫グロブリン抗体によるウエスタンブロット法で、内因性アポC2に結合する自己抗体を証明しました。②患者血清から硫酸沈殿により免疫グロブリン分画を濃縮してLPL活性測定系に添加し、LPL活性が抑制されることを証明しました。（本症例は、ステロイドと免疫抑制剤による治療で、抗アポC2自己抗体が低下し、高中性脂肪血症も改善しました。）以上より、自己免疫性脂質異常症の確定診断をすることができました。確定診断をつけることで、患者さんは難病認定を得て経済的にサポートされるため、社会的にも有意義な研究です。

本研究で、私は自己抗体のLPL活性阻害を簡便に測定する方法を考案しました。血清を硫酸沈殿・透析して用いる方法は、一般の臨床検査室でも行い得る方法です。今後は、自己免疫性脂質異常症をもっと簡便にスクリーニングできる検査法を開発できるように研究を進めていくつもりです。

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体情報科学講座心血管代謝学研究室 博士前期課程2年 河村真里



DIAGNOSTICS

Alinity + AlinIQ

変化し続ける医療環境の中で
生まれるお客様の課題に、
Alinity・AlinIQという
トータルソリューションで貢献します。

Abbott

〒108-6305 東京都港区三田3-5-27住友不動産三田ツインビル西館 TEL:03-4555-1000 © Abbott Japan Co., Ltd. 201801032

皆様のご意見、情報等お待ちしております。
FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp
郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。

平成31年3月号の原稿メ切は**2月1日（金）**、4月号は**3月1日（金）**です。